

平成 2 1 年度

品川区立第二延山小学校
校長 宮下 和子



二延 学校だより 3月号

<http://www1.cts.ne.jp/enzan2>

第二延山の教育目標

校長 宮下和子

3月。三寒四温を繰り返しながら、季節は確実に春を迎えます。校門前の桜の蕾もまだ硬さを感じさせますが、開花の時を待って準備中です。

622名の子供達は学習発表会を一つの節目として、1年間のまとめの時期を迎え毎日の学習に余念がありません。6年生は卒業を控え、残る日々を数えるように名残を惜しみつつ一日一日を大切に過ごしています。4月の桜と共に校門をくぐって早6年がたち、成長した姿をみると歳月の重さと伸びゆく者のすがすがしさを感じます。

4月。学校は平成22年度を迎えます。平成22年度は品川区の小中一貫教育が始まってから5年目の年になります。本校は荏原第六中学校、小山小学校と施設分離型一貫教育を行っています。5年の節目の年に当たり3校連携グループ教育目標を下記のように設定しました。

《小中一貫教育目標》

品格ある市民の育成 進んで学習する児童・生徒
協力し助け合う児童・生徒
心身共にたくましい児童・生徒

《第二延山教育目標》

自学共生 進んで学習する子
協力し助け合う子
心も体もたくましい子（明るく健康な子の改訂）

一貫グループ教育目標の「品格ある市民」とは、義務教育学校においては「時を守る・礼を正す・場を清める」ことが「学習の場に相応しい態度能力として身に付いた児童・生徒」を意味しています。言い換えれば、学校という集団生活のなかで「当たり前前」の行動化できる児童・生徒のことです。

具体的な児童・生徒像として3項目めの「心身共にたくましい児童・生徒」は本校の「明るく健康な子」をより具体性をもたせた文言に改めたものです。本校の児童の素直さ、明るさは心身の健康の現れです。しかし、如何なる状況にあっても、しなやかにねばり強く課題に立ち向かっていく「たくましさ」の面でやや弱さがあります。少しのことでくじけずへこたれず夢や可能性に立ち向かっていく心の強さと体力を身に付けさせたいと考え、「心も体もたくましい子」と設定しました。

大人にとって、1年間は過ぎてしまえばあっという間のように感じられますが、子供達にとっての1年間は様々な体験や知識の積み重ねであり、広がり行く人間関係の濃密さであり、はずむような毎日の連続であった1年間だったと考えます。その1年間で学校と協働し支えてくださったPTA、地域、行政や関係諸機関の皆様には深く感謝いたしますと共に、新年度はより一層の大人の協働が子供達の健全育成として結実することを願って止みません。ありがとうございました。

基礎・基本の学習内容の定着を確実に - 授業時数の確保について

教務主任 大崎 和彦

本校では、これまで基礎・基本の学習内容が身につくように、十分な授業時間数を確保してきました。新学習指導要領の改訂でも「児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりする活動を計画的に取り入れること」が重視されています。そのような活動を保障するためには、当然のことながら、十分な授業時数の確保が絶対条件の一つとなります。

国の新学習指導要領でも時間数の増加が示されていますが、品川区の小中一貫指導要領では、国の学習指導要領を上回る標準時間数が定められています。本校では、今年度までも、それらに十分に対応できる時数を確保してきました。

来年度についても、二延小の時間数は、品川区小中一貫指導要領22年度移行措置授業時数を、各学年約70～100時間程度上回る授業時数を確保しています。

時数確保の方法の一つとして、今年度までと同様に、各学期に行われる学校公開、運動会、二延祭り・もちつき大会、学習発表会の土曜日振替は行いません。また、各学期の始業式（1学期は除く）・終業式の日も、午後の授業を行うこととなります。

確保された授業時数を有効に活用し、基礎・基本の学習内容の定着を目指していきます。

学習発表会（1年）



（2年）



（3年）



（4年）



（5年）



（6年）

